

# 技術者評価を重視した選定について

---

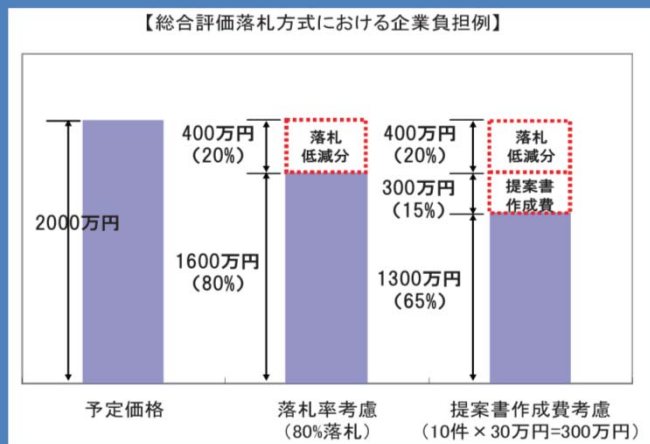
# 技術者評価を重視した選定について

## 現状の課題認識

1) 総合評価落札方式の標準型(1:2、1:3)の業務は、評価テーマに関する技術提案の作成や技術提案の審査とりまとめなど、受注者、発注者双方ともに、負担感が大きい。

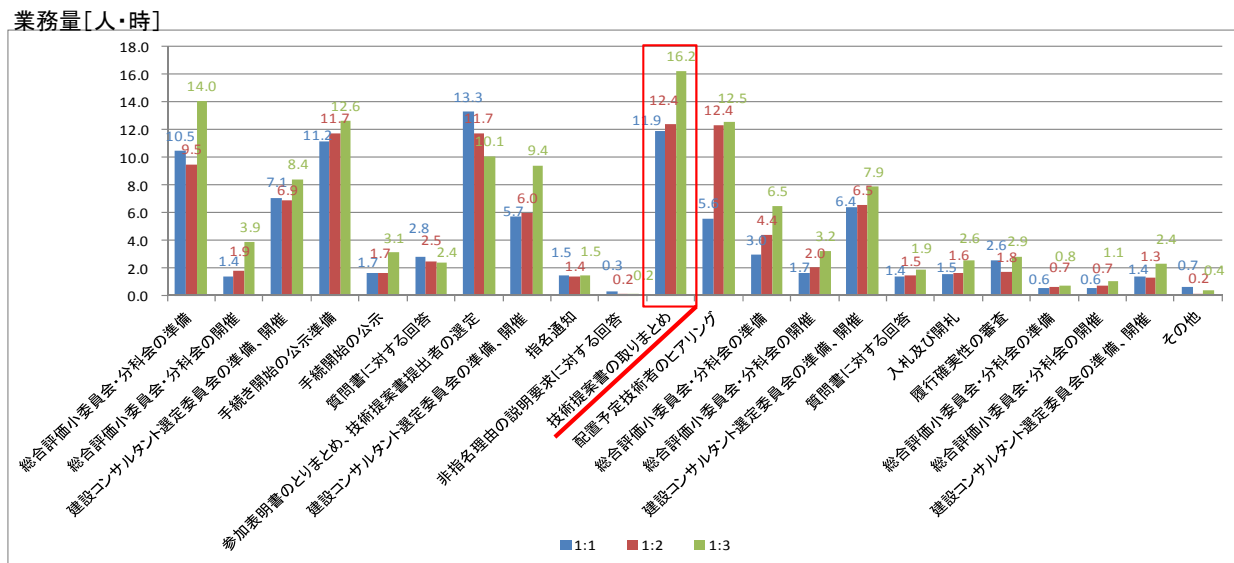
- 受注者における技術提案の作成経費負担が継続的に蓄積するとともに、発注者が行う技術提案の審査とりまとめに12~16時間・人を要している。

【受注者側の技術提案書作成費】



※出典:「平成25年度 建設コンサルタント白書 平成25年6月 一般社団法人 建設コンサルタント協会」

【発注者側の審査等の配点比率別の事務作業量】



総合評価のタイプ	総合評価小委員会・分科会の準備	総合評価小委員会・分科会の開催	建設コンサルタント選定委員会の準備、開催	手続開始の公示準備	手続開始の公示	質問書に対する回答	参加表明書のとりまとめ、技術提案書提出者の選定	建設コンサルタント選定委員会の準備、開催	指名通知	非指名理由の説明要求に対する回答	技術提案書の取りまとめ	配置予定技術者のヒアリング	総合評価小委員会・分科会の準備	総合評価小委員会・分科会の開催	建設コンサルタント選定委員会の準備、開催	質問書に対する回答	入札及び開札	履行確実性の審査	総合評価小委員会・分科会の準備	総合評価小委員会・分科会の開催	建設コンサルタント選定委員会の準備、開催	その他	合計
1:1	10.5	1.4	7.1	11.2	1.7	2.8	13.3	5.7	1.5	0.3	11.9	5.6	3.0	1.7	6.4	1.4	1.5	2.6	0.6	0.6	1.4	0.7	93.3
1:2	9.5	1.9	6.9	11.7	1.7	2.5	11.7	6.0	1.4	0.2	12.4	12.4	4.4	2.0	6.5	1.5	1.6	1.8	0.7	0.7	1.3	0.2	101.8
1:3	14.0	3.9	8.4	12.6	3.1	2.4	10.1	9.4	1.5	0.2	16.2	12.5	6.5	3.2	7.9	1.9	2.6	2.9	0.8	1.1	2.4	0.4	129.4

単位:人・時

※H23・24年度業務実績、国土交通省調べ

# 技術者評価を重視した選定について

## 現状の課題認識

2) 技術者個人の過去の成績は、今回成績に概ね比例しており、信頼性が高い指標といえるが、現在は、評価ウエイトが小さく、非効率ではないか。

3) 評価テーマについては、配点割合が高くなっても、成績が向上するといった相関関係は、確認できない。

※技術者成績では、評価ウエイトが高まると業務成績も比例して高くなる。

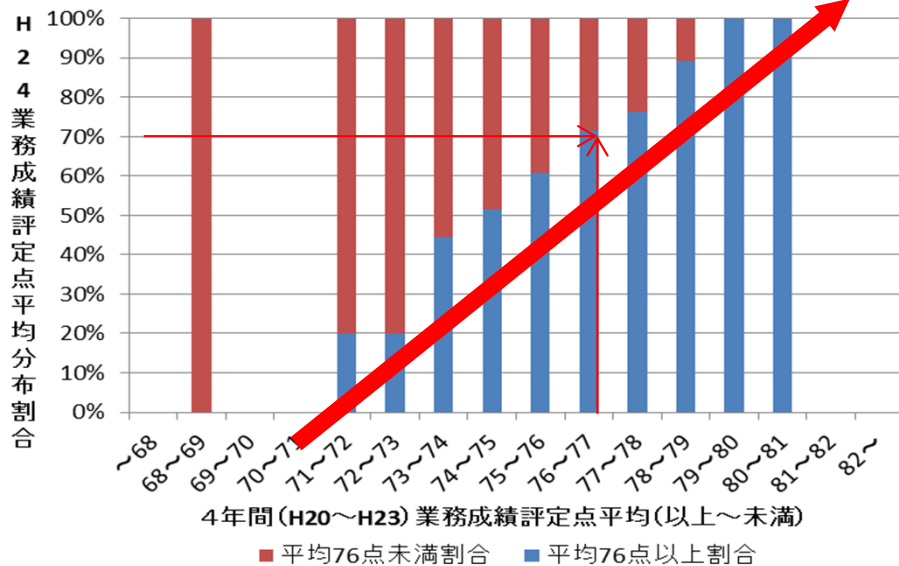
○管理技術者の過去の業務成績が高くなるほど、今回の成績が高くなる割合が増加。

- 平成20～23年度の4箇年の業務成績の平均が76点以上の管理技術者の7割以上が平成24年度の業務成績の平均が76点以上。

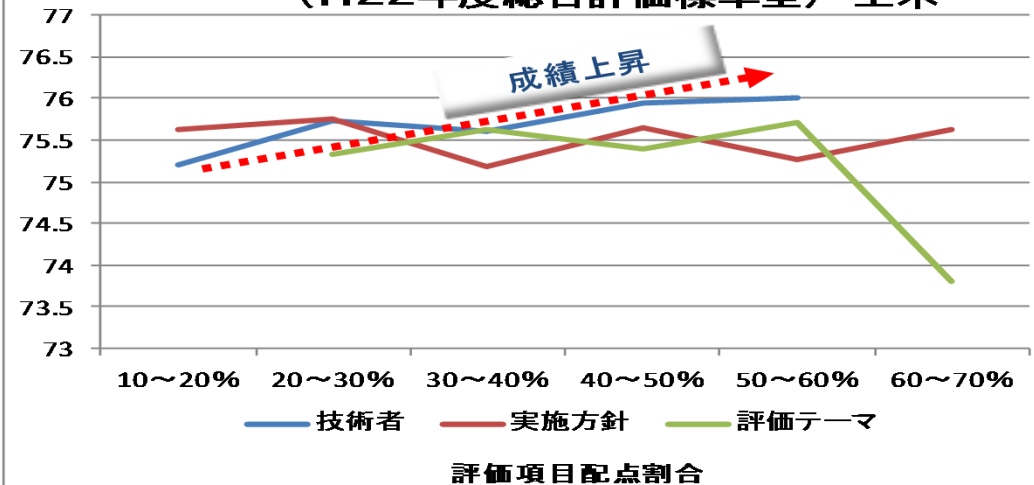
○「実施方針」、「評価テーマ」は、配点割合が高くなっても、ほぼ75.5で一定の平均的成績を示している。

一方、「予定技術者の経験及び能力」は配点割合が高くなればなるほど、平均成績も76点と、1点ほど高くなる傾向が確認された。

過去4年間の業務成績平均とH24年度成績の関係



入札段階評価での配点率別成績平均 (H22年度総合評価標準型) 土木



※平成22年度の土木関係建設コンサルタント業務について、入札段階での「予定技術者の経験及び能力」、「実施方針」、「評価テーマ」の配点割合別で分析

# 技術者評価を重視した選定について

論点 技術者の成績評価ウエイトを高めると、成果品質の向上が期待できるのではないか。

方向性 入札段階の技術点を構成する評価テーマの配点をとりやめ、技術者の成績・表彰と実施方針への配点を拡大する。

## 技術者評価の配点を拡大する試行について

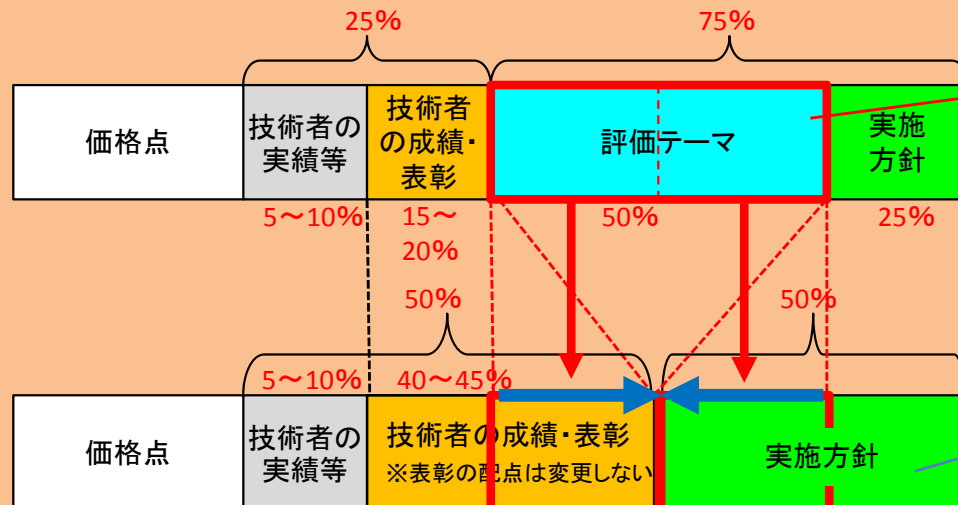
### 【実施内容】

- 対象業務 ; 平成26年度に総合評価落札方式の標準型で発注する土木関係建設コンサルタント業務
- 試行規模 ; 実施件数は、事業毎に1~2割程度
- 試行 ; 総合評価落札方式の標準型(1:3)により実施

留意点 ; 実施方針の評価点は、過去の同種業務の実績、業務理解度、業務実施方針等について、ヒアリングを実施して決定。

### 入札段階の技術評価

#### 【配点案】総合評価落札方式(標準型)1:3



「評価テーマ」の配点割合を、「技術者の成績・表彰」に25%、「実施方針」に25%を配分

#### ヒアリングの実施

試行業務では、入札段階の技術評価において、予定管理技術者の過去の実績や業務理解度、業務実施方針等について、配置予定管理技術者と面談し、当該業務の履行に必要な技術力の確認を行うものとする。

# 技術者評価を重視した選定について

## 【入り口の内容】

- 試行業務と試行業務と同種の非試行業務を対象。
- 選定・指名時の技術評価及び特定・入札時の技術評価のそれぞれの評価項目に係る配点と参加者の得点の状況について調査。

入口段階：配点及び得点状況の調査項目（案）

		調査項目(案) 通常業務			
基礎情報	部局名	〇〇地方整備局〇〇事務所			
	業務名	〇〇設計業務			
	入札年月日	2015/6/1			
	契約年月日	2015/6/2			
	業務区分	土木コンサルタント			
	入札方式	公募型指名競争入札			
	総合評価の有無	有			
	予定価格(税抜き)	〇〇円			
	調査基準価格(税抜き)	〇〇円			
	価格点：技術点	1:3			
	入札業者名	A社	B社	...	
	技術点	43.8	39	30	
	価格点	15	18	16	
落札・非落札	落札				
調査項目(案)		配点	A社の得点	B社の得点	...
管理技術者及び主任技術者／担当技術者／照査技術者	技術者の実績等	◎資格要件	2	2	2
		◎同種・類似業務の実績	2	2	1
		○情報収集力（地域精通度）	1	1	1
		○当該分野の従事期間 手持ち業務（専任性）			
	技術者の成績・表彰等	◎業務成績評定点	10	10	8
		◎優良表彰	10	10	0
実施方針		○継続教育（CPD）			
		◎業務内容の理解度	5	5	5
		◎実施手順（実施フロー）	5	3	5
		◎工程計画の妥当性	5	3	5
		◎業務に関する知識、有益な代替案、重要事項の指摘	5	2	5
		○業務の円滑な実施に関する提案	5	0	5
		実施方針（着眼点）の妥当性 業務実施体制の妥当性			
評価テーマ（テーマ数分） ※通常業務のみ入力		○テーマ間の整合性	10	8	6
		◎的確性（妥当性・的確性）	20	15	10
		◎実現性	20	12	12
		独創性			
技術点(60点換算前)		100	73	65	

		調査項目(案) 試行業務			
基礎情報	部局名	〇〇地方整備局〇〇事務所			
	業務名	〇〇設計業務			
	入札年月日	2015/6/1			
	契約年月日	2015/6/2			
	業務区分	土木コンサルタント			
	入札方式	公募型指名競争入札			
	総合評価の有無	有			
	予定価格(税抜き)	〇〇円			
	調査基準価格(税抜き)	〇〇円			
	価格点：技術点	1:3			
	入札業者名	A社	B社	C社	
	技術点	55.2	35.4	30	
	価格点	15	18	16	
落札・非落札	落札				
調査項目(案)		配点	A社の得点	B社の得点	...
管理技術者及び主任技術者／担当技術者／照査技術者	技術者の実績等	◎資格要件	2	2	2
		◎同種・類似業務の実績	2	2	1
		○情報収集力（地域精通度）	1	1	1
		○当該分野の従事期間 手持ち業務（専任性）			
	技術者の成績・表彰等	◎業務成績評定点	35	35	15
		◎優良表彰	10	10	10
実施方針		○継続教育（CPD）			
		◎業務内容の理解度	10	10	10
		◎実施手順（実施フロー）	10	10	8
		◎工程計画の妥当性	10	8	6
		◎業務に関する知識、有益な代替案、重要事項の指摘	10	8	6
		○業務の円滑な実施に関する提案	10	6	0
		実施方針（着眼点）の妥当性 業務実施体制の妥当性			
評価テーマ（テーマ数分） ※通常業務のみ入力		○テーマ間の整合性			
		◎的確性（妥当性・的確性）			
		◎実現性			
		独創性			
合計(60点換算前)		100	92	59	0

# 技術者評価を重視した選定について

## 【調査内容】

○業務の出口段階の情報として、調査対象業務の業務成績評定点(内訳を含む)を調査。

出口段階:業務成績評定点の調査項目(案)

評価項目		管理技術者	担当技術者	照査技術者	
専門技術力	提案力、改善力	9.5	9.5	—	
	業務遂行技術力	19.0	19.0	—	
	施工時への配慮	概略設計 予備設計	—	—	—
		詳細設計	—	—	—
	コスト把握能力	—	—	—	
管理技術力	工程管理能力	9.5	9.5	—	
	品質管理能力	9.6	9.6	66.7	
	迅速性、弾力性、調整能力	4.8	4.8	—	
コミュニケーション力	説明力、協調性、プレゼンテーション力	4.8	4.8	—	
取組姿勢	責任感、積極性、倫理観	9.5	9.5	—	
成果品の品質		33.3	33.3	33.3	
評定点の小計		100.0	100.0	100.0	
業務執行に係る過失に伴う減点		0.0	0.0	0.0	
事故等による減点		0.0	0.0	0.0	
瑕疵修補又は損害賠償による減点		0.0	0.0	0.0	
その他(低入札調査・業務コスト調査)		0.0	0.0	0.0	
総合評定点		100.0	100.0	100.0	

○受発注者に試行の効果・影響についてアンケート調査。

アンケート調査項目(案)

発注者	受注者
・入札・契約手続きにかかる作業量は減少したか。	
・入札・契約手続きのどの作業がどの程度は減少したか。 (ex. 技術書類の審査が〇〇人日減少、等)	・入札参加に係るどの作業がどの程度減少したか。 (ex. 技術提案書作成作業の分が、〇円減少、〇〇人日減少、等)
・入札参加者に変化はあったか。 (参加者数、参加者属性等)	・入札参加の判断に影響はあったか
・業務成績の結果	・参加機会や受注機会について
・適用することが望ましい業種は何か	
・適用することが望ましくない業種は何か	
・本格導入に向けた課題等 ・その他 懸念事項について	



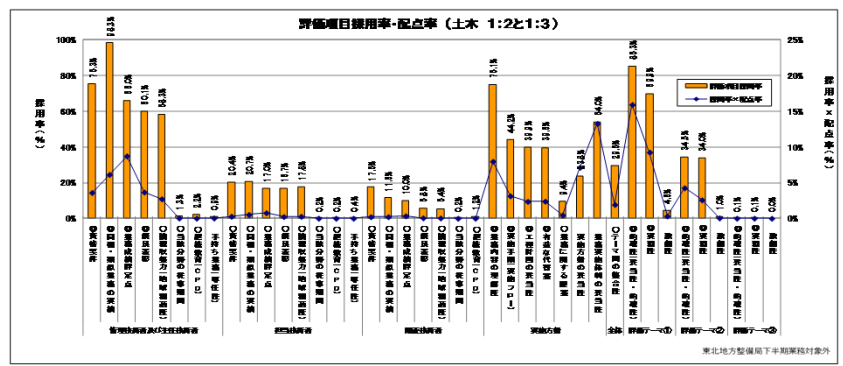
# 技術者評価を重視した選定について

## 【分析・評価方法】

### I. 試行に関する評価方法

- ・試行業務の各評価項目の配点と得点の状況について集計・整理し(採用率、配点率、等)、落札者決定に影響を与えている評価項目や配点について分析・評価

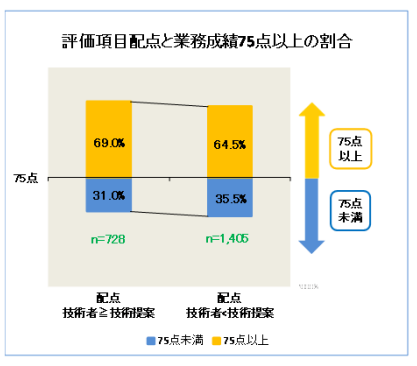
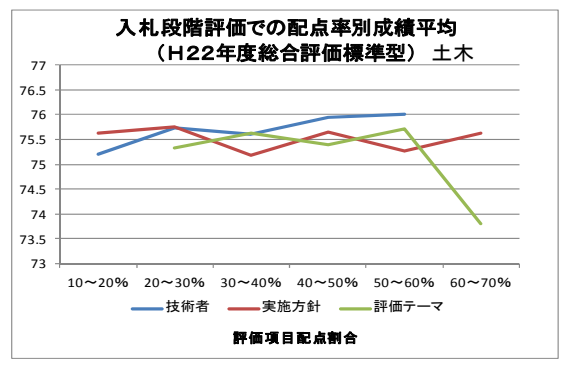
I. 分析イメージ



### II. 試行業務の入口と出口の関係の分析・整理

- ・試行業務の入口での評価項目の配点率や得点率と出口の成績との関係について集計し、成績に影響のある評価項目について分析・評価

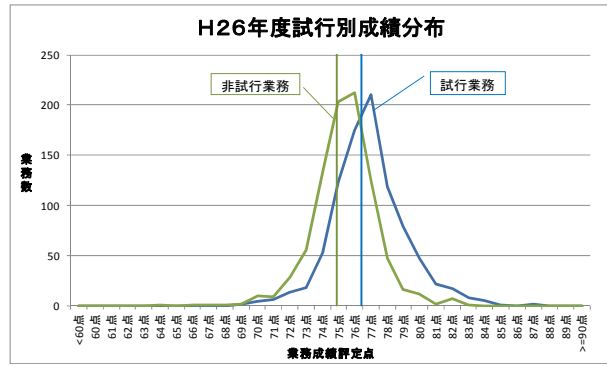
II. 分析イメージ



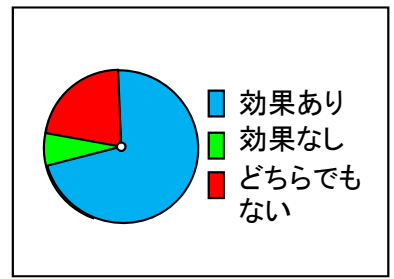
### III. 試行業務と通常業務との比較分析

- ・試行業務と通常業務の成績について同種業務間で比較し、試行による成績について分析・評価

III. 分析イメージ



IV. 分析イメージ



### IV. アンケート結果の整理

- ・アンケート結果より、試行による作業負荷の削減等に関する効果の有無について整理

### V. 技術者評価の配点拡大

- ・上記の分析評価を踏まえて、技術者評価の配点拡大の妥当性、適用業務等について検討・整理